

体の中に入れることが可能な 超小型医療デバイスの開発

目標

実際に研究室で開発している小型の医療デバイス（呼吸センサなど）の作製・評価を通じて、医用情報分野の面白さを体感する。

学べること

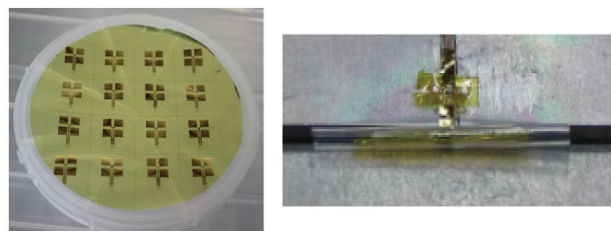
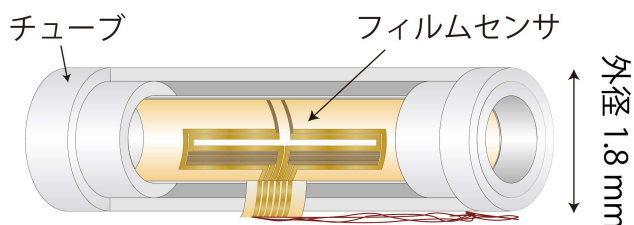
- 小型医療デバイスの仕組み
- 小型センサの作製技術
- センサの評価技術
- 取得したセンサのデータ解析



センサ評価の様子

実施日・内容

- 実施日：7、8月で日程調整します。
- 第1回（半日程度）
 - デバイスの仕組みを学ぶ
 - センサ作製
- 第2回（半日程度）
 - センサ作製続き
 - センサの特性評価
 - データ解析
- 第3回（半日強程度）
 - まとめとポスター作成



センサ概略および写真

- ※ 担当教員と参加者全員の都合が合う場合には、開催日を変更できることがあります。
- ※ 教科書などは、当日、必要に応じて貸し出します。

担当教員

医用情報科学専攻 長谷川義大